

特定建築物工事完了届出書

（宛先）京都府知事	26年 12月 17日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都品川区東五反田3-20-14	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社アーテック 取締役社長 柳谷 圭政

工 事 の 種 別		■ 新築 □ 増築
工 事 完 了 年 月 日		平成26年 12月 16日
特 定 建 築 物 排 出 量 削 減 計 画 書 提 出 年 月 日		平成26年 1月 10日
特定建築物の概要	名 称	（仮称）京田辺物流倉庫新築工事
	所 在 地	京都府京田辺市大住濱5番1・21番・26番・26番8・27番4・27番5大住池島42番2
府内産木材等の使用	府内産木材等の種類と使用量	① 第11条の2第1号ア該当木材等 0.087立方メートル ②第11条の2第1号イ該当木材等 立方メートル ③第11条の2第2号該当木材等 立方メートル ④第11条の2第3号該当木材等 立方メートル 府内産木材等の使用量の合計量 立方メートル （①+②+③+④）
	使用する用途	集成材、フローリング、構造用合板
	府内産木材等の使用基準量	0.079立方メートル
	当該建築物における木材の使用量の合計量	0.087立方メートル
	木材が使用可能な居室の合計面積	63.04平方メートル
再生可能エネルギーを利用するための設備の導入	再生可能エネルギーを利用するための設備の種類	年間で利用可能な再生可能エネルギーの量
	①太陽光	14,722,687メガジュール
	②風力	メガジュール
	③水力	メガジュール
	④地熱	メガジュール
	⑤太陽熱	メガジュール
	⑥バイオマス	メガジュール
	⑦その他（ ）	メガジュール
再生可能エネルギーの利用量の合計量 （①+②+③+④+⑤+⑥+⑦）	14,722,687メガジュール	
温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施した措置		概 要
■ 外壁、屋根又は床の断熱	事務所エリア外壁に断熱材、屋根にも断熱性能のある折板二重葺きを採用	
□ 窓の断熱又は日射の遮蔽		
■ エネルギー消費効率の高い設備の導入	事務所エリアのLED照明や人感センサー	
■ 環境への負荷が少ない材料の利用	F☆☆☆☆等の環境に配慮した内装材を選定	
■ 節水型設備の設置	節水コマや節水型便器の設置	
■ 雨水、雑排水等の利用	既設井水の外構散水等の利用	
□ 耐用年数が高い材料及び設備の利用		
■ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	ゆとりのあるEPSスペース、倉庫エリアは天井が無い為維持管理が容易。	

■ 緑化の実施	基準値以上の緑地を確保
□ その他	

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この届出書には、次に掲げる事項が分かる書類を添付してください。

- (1) 府内産木材等の使用量
- (2) 使用した木材等が府内産木材等であること。
- (3) 再生可能エネルギーを利用するために導入した設備の内容及びその設置場所
- (4) 温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施した措置の内容

3 「府内産木材等の使用基準量」には、第 22 条第 3 項の規定により算出した数値を記入の上、その算出の根拠となる資料を添付してください。